ありそうでなかった3つの注目テーマ 日欧株に手軽にアクセス！

日本のインバウンド消費、欧州の防衛・航空宇宙産業、同じく欧州の高級ブランド株という、従来にはなかった投資テーマのETN。組入銘柄や対象指数の値動きをチェック。

497A インバウンド消費関連 日本株（ネットリターン）ETN

インバウンド関連70銘柄に投資

日本株で流動性の高い時価総額上位600銘柄から、各種商品小売業など5業種のインバウンド関連売上高比率における上位70銘柄を選定。組入比率は5%を上限とし、銘柄は年2回（6、12月）入替えを行う。

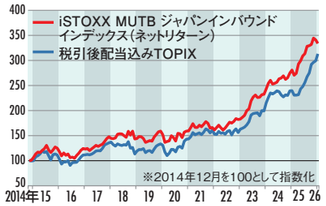
管理費用	売買価格（26年2月27日時点）
年率 0.85%	1口当たり 1万610円

組入銘柄トップ5（2026年1月30日時点）

	コード	銘柄名	比率
1	9983	ファーストリテイリング	5.3%
2	3382	セブン&アイ・ホールディングス	5.2%
3	8001	伊藤忠商事	5.1%
4	7532	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	4.8%
5	8267	イオン	4.7%

対象指数の推移

連動対象指数の値動きはTOPIX（税引後配当込み）を上回り、成長を続けている。



注：2014年12月22日の値を100として算出。2014年12月～2026年1月の月次ベースの累積リターンを表示。TOPIXは本ETNのベンチマークではなく、参考として表示。出所：STOXX社及びBloombergのデータを基に三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。

498A 防衛・航空宇宙 欧州株（ネットリターン）ETN

欧州の防衛・航空宇宙産業に投資

国際規範遵守が不十分、または非人道的兵器に関与する企業を除外した上で、一定の流動性を確保する銘柄を選定。26年1月末時点では全21銘柄。組入比率の上限を10%とし、年4回（3、6、9、12月）入替えを行う。

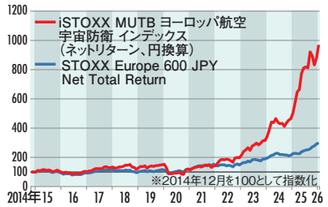
管理費用	売買価格（26年2月27日時点）
年率 1.40%	1口当たり 9912円

組入銘柄トップ5（2026年1月30日時点）

	ティッカー	銘柄名	比率
1	BA/	BAEシステムズ（イギリス）	10.4%
2	RHM	ラインメタル（ドイツ）	9.8%
3	RR/	ロールス・ロイス・ホールディングス（イギリス）	9.8%
4	HO	タレス（フランス）	9.8%
5	SAF	サフラン（フランス）	9.2%

対象指数の推移

地政学リスクの高まりを受けて、22年以降、市場平均を大きく上回る成績を上げている。



注：2014年12月19日の値を100として算出。2014年12月～2026年1月の月次ベースの累積リターンを表示。STOXX Europe 600 JPY Net Total Returnは本ETNのベンチマークではなく、参考として表示。出所：STOXX社及びBloombergのデータを基に三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。

499A ラグジュアリー厳選10 欧州株（ネットリターン）ETN

強いブランド力を持つ企業を厳選

欧州のラグジュアリー関連業種から、流動性やボラティリティ、企業規模などでスクリーニング。ラグジュアリー関連売上が一定比率を超える、時価総額×売上高比率の上位10銘柄を選定。銘柄入替えは6月ほかに実施。

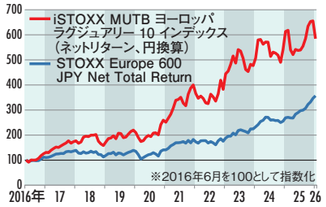
管理費用	売買価格（26年2月27日時点）
年率 1.25%	1口当たり 9820円

組入銘柄トップ5（2026年1月30日時点）

	ティッカー	銘柄名	比率
1	MC	LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン（フランス）	23.9%
2	CFR	フィナンシエール・リシュモン（スイス）	20.4%
3	RMS	エルメス・インターナショナル（フランス）	17.8%
4	EL	エシロールルックスオティカ（フランス）	13.3%
5	RACE	フェラーリ（オランダ）	11.4%

対象指数の推移

10銘柄に厳選しているため比較的値動きは大きいが、長期にわたり成長している。



注：2016年6月20日の値を100として算出。2016年6月～2026年1月の月次ベースの累積リターンを表示。STOXX Europe 600 JPY Net Total Returnは本ETNのベンチマークではなく、参考として表示。出所：STOXX社及びBloombergのデータを基に三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。

主なリスクと留意点　必ずご確認ください　●ETNを通じて株式に投資する場合、各商品の価格は株価の変動や参考とする指標の変動の影響を受け、変動します。また、ETNは裏付けとなる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力を背景として発行されるため、発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価格が下落する可能性があります。したがって元本が保証されているものではなく、損失を生じるおそれがあります。●ETNの売買取引には約定金額に対して最大1.43%（税込）の売買手数料がかかります。（ただし約定金額が193,000円以下の場合は最大2,750円（税込））。●本資料掲載のETNの管理費用は、最大年率1.40%です。●費用の合計額やその他の費用は保有期間等により異なりますので、表示することができません。各商品のリスクや費用に関して詳しくは、有価証券届出書や契約締結前交付書面等でご確認ください。●本広告に掲載されているデータは過去の指数推移および一定の前提に基づくシミュレーションです。掲載商品の実績ではなく、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。●本広告は当社が信頼できる情報をもとに作成したものですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。●本広告は情報提供を目的に本資料掲載のETNの委託者である三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が作成したものです。

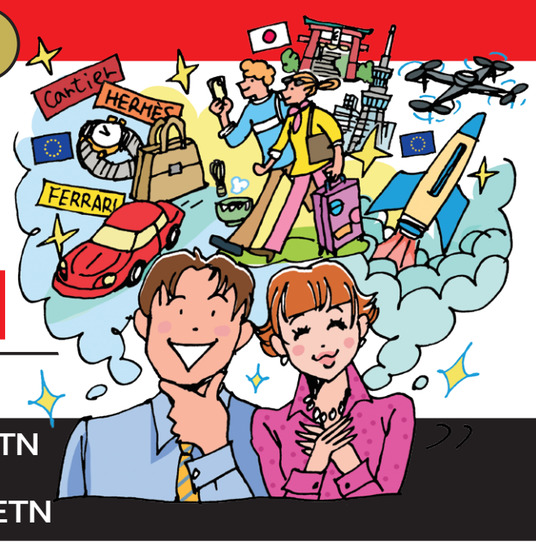
指数の利用に関する留意事項　●STOXX Ltd.、ISS STOXX Index GmbHおよびそのライセンサー、リサーチ・パートナーまたは情報提供者は、本資料に記載された商品について、後援、宣伝、販売又はその他のいかなる形での支援も行うものではなく、また本資料に記載されている商品、または本指数に関連して、いかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。

商号等：**三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社**
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第2336号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

PR

中長期での株価上昇に期待！

旬の成長テーマに新NISAで投資！3つの個性派ETN



三菱UFJモルガン・スタンレー証券

497A インバウンド消費関連 日本株（ネットリターン）ETN
498A 防衛・航空宇宙 欧州株（ネットリターン）ETN
499A ラグジュアリー厳選10 欧州株（ネットリターン）ETN

2026年1月、3本のテーマ型ETNが新規上場した。投資対象は「インバウンド消費」「防衛・航空宇宙」「ラグジュアリー」とユニークなテーマで選定された日本株および欧州株。中長期での成長が期待でき、米国株との分散にもぴったり。その内容を詳しく見ていこう。

ユニークな切り口でテーマ化 日欧株にしっかり分散投資！

三菱UFJモルガン・スタンレー証券の親会社に当たる、三菱UFJ証券ホールディングスが発行するETNシリーズから、2026年1月26日、新たに3本のETNが登場した。「インバウンド消費関連 日本株（ネットリターン）ETN（497A）」「防衛・航空宇宙 欧州株（ネットリターン）ETN（498A）」「ラグジュアリー厳選10 欧州株（ネットリターン）ETN（499A）」だ。

ETNとは「Exchange Traded Note」の略で、値動きが特定の指数に連動する債券のこと。裏付け資産は持たないが、特定の指数に連動することを発行会社が保証するため、指数との間にズレが生じないことも強みとなっている。

成長期待の3分野から銘柄を厳選して投資！

各ETNの特徴を見ていこう。「インバウンド消費関連 日本株ETN」は、その名のとおり、インバウンド消費の恩恵が期待できる70銘柄に投資する。インバウンド消費は、30年の訪日外国人旅行消費額15兆円という政府目標が掲げられている。これは自動車の輸出額（25年は17・6兆円）に匹敵する規模であり、日本経済の牽引役になり得る分野。そこに分散投資し、将来の成長に乗っていくことを目指す。

「防衛・航空宇宙 欧州株ETN」は、地政学リスクへの対処から防衛力強化に舵を切った、欧州地域の防衛と航空宇宙産業に投資する。NATO（北大西洋条約機構）は、加盟国の防衛支出を35年までにGDP比5%まで引き上げることを表明しており、関連する企業の業績拡大が期待されている。

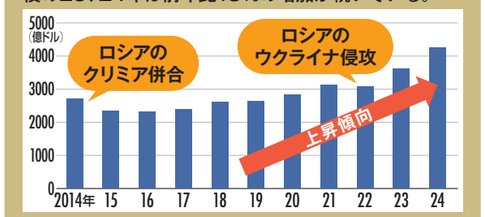
「ラグジュアリー厳選10 欧州株ETN」は、エルメスやカルティエなど誰もが知るヨーロッパの高級ブランドを有する10銘柄に集中投資する。ラグジュアリーブランドは、卓越した品質、歴史と伝統、希少性などに基づく高いブランドイメージがあり、長期にわたり売上高を伸ばしてきた。世界経済の成長に伴い富裕層が増加傾向にあるが、その追い風に乗って今後も成長することが期待できる分野だ。

この3本はNISAの成長投資枠の対象。また、税引後の配当を再投資した投資成果を表すネットリターン指数に連動する。

全世界株型やS&P500など、気がつくと米国株偏重になっていたという投資家にとっては、資産を分散させる意味でも注目の商品といえるだろう。

今、注目したいテーマ！ 欧州における防衛力強化

地政学リスクの高まりを受けて、欧州の主要国は防衛支出を増加。下図は、欧州主要国*の軍事支出推移を表したもの。2017年から上昇傾向で、特にウクライナ侵攻後の23、24年は前年比18%の増加が続いている。



*欧州17カ国（イギリス・ドイツ・フランス・イタリア・ポーランド・スペイン・オランダ・スウェーデン・ノルウェー・デンマーク・ベルギー・フィンランド・スイス・オーストリア・ポルトガル・アイルランド・ルクセンブルク）の合計。（出所）World Bank Groupより取得したストックホルム国際平和研究所のデータに基づき三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。